

愛知県

事例 1 「多文化共生コミュニティ状況等実態調査」事業

事例 2 「多文化共生促進教室開催」事業

事例 1 「多文化共生コミュニティ状況等実態調査」事業

(愛知県)

本事業は、愛知県内の外国人コミュニティ（外国人県民が集まって住んでいる地域や活動している場）の状況や課題を調査し、外国人県民に対する支援や多文化共生を推進するための基礎資料とするとともに、日本人県民に対して外国人コミュニティの理解を深めてもらうための普及啓発資料「多文化共生マップ」を作成するものである。

1. 外国人住民の現状

愛知県内の外国人登録者数は約20万5千人（2010年12月末現在）であり、国籍別に見るとブラジル人が最も多く、外国人の約3割にあたる約6万人を占めている。金融危機の影響等により、外国人登録者数は2009年末と比較して約9千人減少しており、ブラジル人は約7千人減少している。

県人口に占める外国人登録者の割合は3%であり、都道府県の中で東京都に次ぐ高さとなっている。外国人住民は県内の都市部全域で暮らしている。

2. 背景・事業の目的

多文化共生の社会づくりには日本人と外国人の相互理解が必要不可欠であるが、日本人県民から見て外国人の生活や集住状況等が見えにくく、それが相互理解を妨げる要因の一つとなっていると考えられる。

こうした中で本事業は、外国人の利用する店、外国人の自助組織の状況、外国人によるコミュニティの形成等を調査し、外国人コミュニティの現状についての啓発資料を作成することにより、日本人県民の外国人に対する理解の促進を目的とするものである。

3. 事業の内容

(1) 事業の実施主体

本事業は、愛知県にて企画競争により決定した NPO 法人「多文化共生リソースセンター東海」へ委託して実施している。

(2) 事業の実施地域

上記実施主体からの企画提案により、下記の地域で調査を実施している。県内ではブラジル人が最も多いが、名古屋市中区ではフィリピン人、瀬戸市では韓国人、田原市では中国人が最も多くなっており、こうした国籍の異なるコミュニティの状況も調査することとしている。

- ・ 尾張地域：名古屋市（中区、港区）、小牧市、瀬戸市
- ・ 西三河地域：豊田市、碧南市、西尾市
- ・ 東三河地域：豊橋市、豊川市、田原市

(3) 外国人コミュニティの調査方法

外国人コミュニティについては、その実態の把握が必ずしも容易ではないと考えられるが、本事業においては、調査実施地域の市役所をはじめとして、得られた情報を元に外国人が集う店舗などに次々にヒアリングを重ねることにより、いくつかのコミュニティの存在を確認している。

こうして把握したコミュニティに対し、主に聞き取りにより調査を行っているが、地域によってはコミュニティの活動に実際に参加することにより、活動状況を調査した地域もある。

(4) 調査内容

外国人コミュニティに対する主な調査事項は次のとおりである。

① 外国人コミュニティの生活環境の状況

自助組織、商店（衣料品、食料品、雑貨等）、飲食店（食堂、カフェ等）、交流施設（集会所、教会等）、メディア（回覧板、雑誌、新聞、HP等）、日本人県民との関わり など

② 外国人コミュニティに集まっている人たち（日本人県民含む）の状況

③ コミュニティ内の課題と対応、日本人県民と共生するための課題と対応

いくつかの質問の回答例としては、「日本人への接し方」について、「全く話さない」「あいさつする」「質問があれば答える」等、「地域の祭りやイベントへの出店」については、「よく出店する」「時々出店する」等の回答が外国人から寄せられている。また、外国人が経営する店舗に来店した日本人に対しては、「こういう場所はどんな意義があるか」といった聞き取りを行い、「外国人との出会いの場所」「交流の場所になる」等の回答が得られている。

なお、日本に長期間暮らしている外国人は、日本人が利用するスーパーマーケットを利用すること等が考えられるため、外国人が集まる店舗以外にも、その利用状況について聞き取りを実施している。

4. 事業実施年度・予算額

予算額は9,635千円（2010年度）であり、国の緊急雇用創出事業基金事業を活用している。

5. 事業の実績・成果等

調査により、これまで愛知県が把握していなかった4つの自助組織が新たに発見された。

これを含め調査した外国人コミュニティについての理解促進を図るため、2011年2月に「外国人コミュニティフェア2011」が開催された（資料1）。

今後、外国人コミュニティの状況・課題をまとめた報告書と、外国人コミュニティの状況を示す「多文化共生マップ」の作成が予定されている。日本人県民の理解促進を図るため、こうした成果物を国際交流協会、調査を実施した店舗、県主催のフォーラム等において配布すること等が検討されている。

さらに、県が外国人を対象としたイベント等を実施する際に、調査した外国人の店舗に情報提供を行うことや、調査対象とした10地域の市町に詳細データを提供し、外国人施策に活用してもらうことも検討されている。

なお、外国人は居住地や就労状況の変化が速いこと等から、成果物の内容の更新方法や、誤解を招かないような結果の表示方法の工夫なども検討されている。

本事業の調査結果については、普及啓発のほか、外国人コミュニティの育成、外国人コミュニティ同士のネットワーク化、外国人コミュニティと日本人の交流など、関連の施策の基礎資料として活用される予定である。



「外国人コミュニティフェア2011」の様子
出所) 愛知県提供

事例 2 「多文化共生促進教室開催」事業（愛知県）

本事業は、外国人住民が地域の生活ルールや生活に密着した日本語を、身近な場所で学ぶことができる「多文化共生促進教室」を開催するものである。

1. 背景・事業の目的

多文化共生社会の推進には、外国人県民が地域社会の生活ルールを学ぶとともに、日常生活に必要な程度の日本語の読み書きを習得し、日本人と外国人の相互理解を一層促進することが欠かせない。

本事業は、外国人住民が共生に必要な地域の生活ルール（ごみの出し方、交通規則など）及び日常生活に必要な程度の日本語の読み書きを身近なところで学ぶことができる場を提供するものである。

2. 事業の内容

(1) 実施主体

本事業の実施主体は、公募に基づき決定されたNPO法人、企業、ボランティア団体等13団体（2010年度）となっている。

このうち5団体が企業であり、人材派遣会社1社、通訳会社1社、日本語学校2校、ブラジル人学校の経営会社1社となっている。いずれも、会社の従業員向けではなく、一般の成人向けの教室を開催している。

(2) 事業の実施地域

(1)の13団体により、県内で27の教室（2010年度）が開催されている。開催場所は各団体からの提案に基づくものであり、1団体あたり3教室まで開催可能としている。教室の開催場所の検討の参考のため、県から団体に対して外国人の集住地域の情報提供等が行われている。

なお、2009年度の開催実績は、5団体による5教室である。

(3) 活動内容

県は、教室の活動内容に関して次の要件を設けているが、具体的な内容は、事業実施団体からの提案に基づくものである。

- ① 県内で開催し、県内の外国人県民（義務教育年齢以下を除く）を対象とすること。
- ② 原則、10名以上を対象とすること。
- ③ 4か月間開催すること。
- ④ 1か月あたり8時間以上の指導時間を確保すること。

- ⑤ 日本語指導者が1人以上いること。
- ⑥ 授業料は、原則無料とすること。

教室の教材やカリキュラムについては、事業実施団体が独自に工夫しており、地域の生活ルールを学びながら日本語を習得できるよう、例えばごみ出しや交通ルールなどを紹介したチラシやパンフレットを使って日本語の読み書きを教えている。

本教室の対象は失業などの制限を設けない一般成人であり、学ぶ機会が少なくなりがちな家庭の主婦なども含まれている。また、本事業は2009年度から開始している一般成人を対象とした日本語教室が端緒となっているが、2010年度からは日本語だけでなく生活ルールを含めて教える教室としている。これらの点において、既存の日本語学習機会（厚生労働省の就労準備研修、文部科学省の虹の架け橋教室等）との棲み分けがなされている。

3. 事業実施年度・予算額

本事業は、国の緊急雇用創出事業基金事業を活用しており、2010年度の予算額は75,000千円（1教室あたり250万円が上限）である。同基金事業の増額のため、2009年度よりも拡大されて教室が開催されている。

4. 事業の実績・成果等

2010年度の参加者の人数や属性については、27教室で合計500人程度、国籍では全体でブラジル人が多く、地域によってはフィリピン人が多い教室もある。詳細は追ってとりまとめがされ、報告書が作成される予定となっている。

本事業では、日本人が教える教室に外国人が通ってくることから、外国人にとって教室が日本及び日本人社会との接点となっている。また、国籍が異なる外国人間で、日本語を共通語として仕事の悩みを話しているといった場面も見られ、国籍を超えたコミュニケーションが図られる効果も生まれている。



多文化共生促進教室の様子
出所) 愛知県提供

外国人 コミュニティフェア 2011

Migrants Association Festival 2011



きっかけは、この
出会いから

日時： 2011年2月12日(土) 13:00~17:00
場所： 名古屋国際センター 別棟ホール

主催 愛知県
実施 NPO法人多文化共生リソースセンター東海

MESSAGE

外国人コミュニティフェア2011
の開催に寄せて

愛知県では、国籍や民族などのちがいかかわらず、すべての県民が互いの文化的背景や考え方などを理解し、ともに安心して暮らせ活躍できる多文化共生社会づくりを推進しています。

近年、「多文化共生」という言葉の認知度は高くなり、今年度実施した県政モニターアンケートで「外国人が多いことをどう思うか」という質問をしたところ、「外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増えるので望ましい」や「地域で外国人と交流できるので望ましい」といった肯定的な意見が多くありました。しかし、その反面、「治安が悪化するので望ましくない」や「習慣や文化の違いから外国人とトラブルが起こるので望ましくない」といった否定的な意見もかなりの割合を占めていました。

考えてみれば、わたしたちは、日本にいる外国人の生活について、知る機会があまりありません。外国人は、特定の地域に暮らし、特定の職種に就き、限られた範囲の人としか接点を持ち合わせていないことが多いため、日本人からその状況が見えにくく、それが理解を妨げている要因の一つであると考えられます。

そこで、今年度、“どんな店を利用しているんだろう？”“どんな所に集まっているんだろう？”という疑問に答え、多文化共生の推進を図るため、外国人コミュニティの中の自助組織や商店（衣料品、食料品、雑貨等）、飲食店（食堂、カフェ等）、交流施設（集会所、教会等）、メディア（回覧板、雑誌、新聞、HP等）、日本人県民との関わりなどの調査を行いました。こうした地域での外国人の暮らしや文化を県民の方々にお示しすることによって、外国人コミュニティに対する理解を深めていただきたいと考えています。

本日は、その一環として、調査させていただいた団体の中から、6つの団体の方に出展していただき、活動内容、将来のビジョンなどについて発表していただきます。また、発表の後、交流会もありますので、この機会にぜひ親睦を深め、楽しんでいただけたらと思いますのでよろしくお願いします。

愛知県地域振興部国際課多文化共生推進室長

Schedule

- 12:30~13:00 受付
- 13:00~13:10 開会あいさつ
- 13:10~13:20 平成22年度愛知県多文化共生コミュニティ状況等実態調査事業
調査結果概要報告
- 13:20~14:20 出展団体によるプレゼンテーション
Illary del Peru (ペルー)
華豊の友 (中国)
NPO法人コリアンネットあいち (コリア)
Nagoya Center For African Migrants (ウガンダ)
ANBRT Associação Nipo-brasileira de Toyotao (ブラジル)
PECLA Programa Educativo del Círculo Latino Americano (ペルー)
- 14:20~15:00 フリータイム
- 15:00~15:15 フィードバックタイム
- 15:15~16:00 交流会
- 16:00~16:30 結果発表・コメント
- 16:30~17:00 閉会あいさつ

Feedback Time

- 1.参加者のみなさまには、投票所にてお一人ずつ
ずつ色のついたボールをお配りします。
- 2.各団体のブースをご覧になった後、3つのボール
を投票所に設置された箱に入れます。
- 3.3色のボールをそれぞれ「もっと団体の情報が
ほしい」、「会員になりたい、寄付をしたい」、
「一緒に活動してみたい」と思った団体の箱
の中に入れてください。
- 4.ボールはお手元に残さず、必ずどこかの団体
の箱に入れてください。
- 5.ボール全部を一団体の箱に入れてもいいですし、
複数の団体に分けて入れてもかまいません。

*NPO法人起業支援ネットが開発した『大起業市場』を
参考にしています。



出展団体

1. Illary del Peru (ペルー)
2. 華豊の友(中国)
3. NPO法人コリアンネットあいち(コリア)
4. Nagoya Center For African Migrants (ウガンダ)
5. ANBRT Associação Nipo-brasileira de Toyota (ブラジル)
6. PECLA Programa Educativo del Círculo Latino Americano (ペルー)

ILLARIY DEL PERU



代表者名 Elisa Vargas Tsuruda

キャッチ
フレーズ

Regalemos a todos una sonrisa con nuestras danzas!

ダンスで笑顔をみんなに贈ろう！

活動目的 Propósitos de las actividades del grupo

Difundir nuestra cultura a la sociedad japonesa, mediante la gastronomía, artesanía, historia y el folklore, llevando la alegría de nuestras danzas en eventos culturales.

民芸品、歴史、民間伝承を通して私たちの文化を広めたい、また文化イベント等で私たちのダンスの楽しさを伝えたいです。

活動内容

Detalles de las actividades del grupo

Hasta Octubre del 2008, colaboramos como integrantes del grupo de danzas de COLAT. El 29 de Noviembre del 2008, ILLARIY DEL PERU se forma como una agrupación independiente. 2009-2010

Participación en varios festivales de la región y eventos de la iglesia.

*Organizamos una exposición de fotos de zonas turísticas del Perú. También se presento bailes folkloricos. (Kodomo Mirai Kaikan en la ciudad de Toyohashi).

*Festival Internacional de Toyohashi 2009 y 2010; se presentó bailes típicos, comida peruana y venta de artesanía.

*Primer y Segundo Festival de Wadaiko EEJANAIIKA! "HIBIKI" en Toyohashi Life Port.

*Participamos en Hamamatsu Mosaic Culture 2009 en el Flower Park Hamanako, Shizuoka.

*Participamos en evento organizado por HAPA, conmemorando Las Fiestas Patrias de Perú.

*Evento deportivo de futbol, organizado por la ciudad de Komaki y el Consulado General del Perú en Nagoya. Entre varios más.

2008年10月まで、COLATと協力して、ダンスグループとして活動。

2008年11月29日、ILLARIY DEL PERUとして独立した団体を結成。

2009-2010年

地域のお祭りや教会のイベントなどに多数参加。

- ・豊橋市にあることも未来会館ココニコでペルーの遺跡や人々の暮らしの写真展示。同時に民族舞踊を披露。
- ・豊橋インターナショナルフェスティバル2009,2010に参加。ペルー民族舞踊、バザー、料理を紹介。
- ・第一回、第二回ええじゃないか！豊橋和太鼓フェスタ”響”、豊橋ライフポートに参加。
- ・浜松モザイクカルチャー世界2009,フラワーパーク浜名湖に参加。
- ・浜松ペルビアン協会（HAPA）ペルーの独立記念日を祝うイベントに参加。
- ・小牧市とペルー領事館のサッカーイベントに参加。他

地域社会への貢献

Contribución a la comunidad local

Participando en eventos de la comunidad, nuestro grupo se toma en un puente entre Japón y Perú para contribuir con el intercambio multicultural.

多文化交流に貢献するために私たちの団体は地域コミュニティのイベントに参加して、日本とペルーの架け橋になっています。

将来のビジョン

Perspectivas para el futuro

Deseamos continuar creciendo e invitamos a los amigos japoneses, adultos y niños, a formar parte de este grupo. Así podrán aprender y disfrutar de nuestra cultura peruana.

私たちは成長し続けたいと思っています。そして日本人の皆さん、大人も子どももこのグループの一員になるよう呼びかけています。そうすれば私たちのペルー文化を学び、堪能できると思います。

メッセージ

Mensaje

Consideramos que nosotros hacemos todo lo posible por integramos a la comunidad, sólo pedimos que la sociedad japonesa sea recíproca con nosotros.

地域のコミュニティに溶け込むため、私たちは出来る限りの努力をしていると考えています。ただひとつだけ、日本社会にも私たちと もっと相互関係をつくってもらえることを望んでいます。



华丰之友

華豊の友

代表者名 任 利民

キャッチ
フレーズ

通过义务活动开展日中文化交流

ボランティア活動を通じた日本と中国の文化交流

活動目的 活動目的

发挥日中文化交流的桥梁作用，以创建更加美好的社会为目标，为大家提供交流的机会
よりよい社会を目指し日中文化交流の懸け橋として皆さんに交流の場を提供する

活動内容 活動内容

- ・企划各种日中交流活动（文化・音乐会・体育・中国料理等）
- ・在 财团法人ASTE进行1次/周的会员体育交流活动
- ・在财团法人ASTE练习中国民族舞蹈并参加各种义务演出
- ・1次 / 年企划并实施丰田市国际交流协会主办的中国日活动
- ・1次 / 年、参加名古屋春节庆典活动
- ・随时举办以会员交流为目的的旅行和聚会
- ・1次/周在丰田市国际交流协会举办面向少年儿童中文教室（国籍不限）
- ・正在企划本年度的中国短期留学
- ・各所で行う日中交流イベント（文化、コンサート、スポーツ、中国料理など）の企画と実施
- ・(財)あすてで週に1度、会員相互のスポーツを通じた親睦交流を実施
- ・(財)あすてで中国舞踊を練習し、各種ボランティア公演に参加
- ・年に1度、豊田市国際交流協会主催中国デーの企画と実施
- ・年に1度、名古屋春節祭への参加
- ・随時、会員親睦のための旅行やパーティーの実施
- ・豊田市国際交流協会にて週に1度、子ども向け中国語教室を開催（対象は国籍問わず）
- ・中国短期留学を企画中

地域社会への貢献

为社区做出的贡献

- ・从在日中国人的角度出发，为丰田市的国际化、国际交流做贡献
- ・拥有丰富在日经验的会员积极在外国人疑难咨询方面发挥作用
- ・通过各种义务活动、为提高在日外国人的社会贡献意识而努力
- ・扩展少年儿童们的国际视野、培养他们的国际理解意识，奠定未来的国际化基础
- ・中国人の視点から豊田市の国際化、国際交流に寄与する
- ・メンバーの豊富な在日歴を生かし、積極的に外国人相談の役割を果たしている
- ・各種ボランティアイベントを行うことで、在日外国人の社会貢献意識向上に寄与する
- ・子どもたちのグローバルな視野、国際理解の心を養成し、国際化の基盤づくりを行う

将来のビジョン

未来展望

- ・为在日外国人和日本人一起共同创建更加美好的社会做贡献
- ・成为连接日本和中国的坚实桥梁
- ・成为得以信赖的在日外国人之家
- ・在日外国人と日本人が共によりよい社会実現に寄与する
- ・日本と中国の太いパイプ役を果たす
- ・在日外国人に信頼されるHOMEとしての存在になる

メッセージ

标语

让远离祖国生活在第二故乡的我们为世界的
大同贡献力量吧

祖国を離れて第二の故郷で暮らす私たちの力でこの世界を一つにしよう

NPO法人コリアンネットあいち



代表者名 申美貴

キャッチ
フレーズ

재일조선사람1세 할머니도 3,4세어린이도 있는 그대로의 자기를 좋아해요.

在日コリアン1世のハルモニも、3,4世のオリニもありのままの自分が好きです。

活動目的 活動 목표

재일조선사람으로서 자신을 소중히 하면서 다른 문화를 가진 사람들과 함께 살아간다.

在日コリアンとしての自分を大切にしながら異文化をもつ人たちとともに生きる。

活動内容

활동 내용

- *고령자들을 위한 개호사업(데이서비스 센터)
- *장애자들과 그 가족들간의 교류회<무지개회>
- *아이키우기 지원사업
- *부모들을 위한 강연회
- *국제교류로서의 <한글강좌>
- *보ランティア 육성

- 高齢者のための介護事業(デイサービスセンター)
- 障がい者とその家族間の交流会<ムジゲ会>
- 子育て支援
- 親のための講演会
- 国際交流としての<ハンゲル講座>
- ボランティア育成

地域社会への貢献

지역사회에 어떻게 공헌하고 싶습니까?

재일조선사람으로서 동포사회를 소중히 구축하면서 민족의 문화, 예술, 생활방식을 더 많은 사람들에게 리해해받고 더 깊이, 더 폭넓게 교류하고 싶다.

在日コリアンとして同胞社会を大切に築きながらコリアの文化、芸術、生活の仕方をよりたくさんの人たちに理解してもらい、もっと深くもっと広く交流していきたい。

将来のビジョン

미래 비전

재일조선사람에 대하여 모두가 잘 리해하고 서로 인정하면서 인간다운 깊은 우정을 맺을수 있는 지역사회를 만들것.

在日コリアンのことを地域みんながよく理解し、違うことを認め合いながら人間としての深い友情を培える地域社会に作りあげていきたい。

メッセージ

메시지

전쟁이 끝난후 65년 지나도 재일조선사람의 존재자체에 대해서도 잘 모르고 있는 일본사회. 1세 오르년부터 3,4세 어린이들의 마음까지 보다 깊이 리해해받고 싶어요.

戦後65年過ぎてもまだまだ在日コリアンのことをよく知らない人が多いのが現実です。1世から3,4世の在日コリアンの気持ちをもっともっと理解してほしいですね。

Nagoya Center For African Migrants (NCAM)



代表者名

Kaweesi N. Hamiat (Onishi Hamiat)

キャッチ
フレーズ

Promote multicultural awareness to others.(Japanese)

日本で多文化意識を広めよう。

活動目的

Aim of The Activity

Promote legal, social, educational, health etc awareness among the African foreign residents communities for them to make an easy living in Japan.

在日アフリカ人が日本で暮らしやすくなるようにコミュニティの中で、日本の法律、社会、教育、保健に関する意識を高めること。

活動内容

What the organization does

Get in touch through our networks with African residents and listen to their problems. There after provide the necessary counsel. We make a follow up through to make sure the results are obtained and problems are solved to satisfaction.

在日アフリカ人のネットワークを通じて、彼らの問題を聞き、必要に応じて相談にのっています。私たちは問題が円満に解決し成果が確実に得られるまで引き続きサポートします。

地域社会への貢献

How does your organization want to contribute to the society

Organizing awareness events so that Japanese local residents can have first hand interaction with foreign communities living in Aichi Prefecture and vice-versa.

日本人の地域住民が愛知県に住む在日外国人と直接交流できるように啓発イベントを開催すること、またその逆も同様です。

将来のビジョン

Future Vision

-Establish the association in other prefectures and create more relations with local government and various stake holders to benefit foreign African resident better.

-To live in a society where multicultural applies.

-在日アフリカ人の役に立つために、県外にも団体を設立し、様々な関係者や地方政府とさらなる関係づくりをしていくこと。

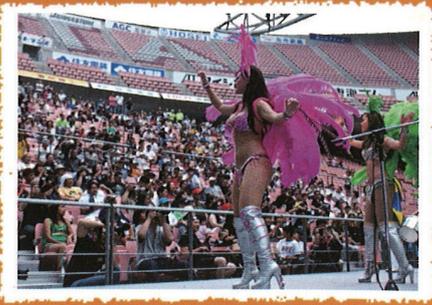
-多文化共生社会で暮らすこと。

メッセージ

Message

Try and learn from what others have and try to share each other's culture (not saying because we are in Japan, we have to live the Japanese ways) by living in a multicultural society.

多文化社会の中で暮らすことで、（日本で暮らしているから日本のやり方で生活しなければならないのではなく）他の人々からいろいろ学び、お互いの文化を共有しましょう。



活動目的 Alvo das Atividades

Promover a integração cultural entre os brasileiros residentes no Japão e os japoneses, visando melhorar seu padrão de vida.

日本在住の日系ブラジル人コミュニティの生活水準の向上及び周囲との交流を積極的に推進することを目的とする。

活動内容 Conteúdo das Atividades

- ・ Festival Multicultural Viva Toyota
- ・ Projeto Recycle Tour
- ・ Apoio ao Projeto Kaeru (Fundação Mitsui Bussan)
- ・ Apoio ao Projeto Safety Network (Polícia de Aichi)
- ・ ビバ トヨタ 多文化フェスティバル
- ・ リサイクルツアープロジェクト
- ・ カエルプロジェクト支援 (三井物産株式会社主催)
- ・ 外国語メディア・セーフティネットワーク支援 (愛知県警主催)

地域社会への貢献 Contribuição à comunidade local

Servindo como meio de comunicação através de palestras, cursos e seminários sobre cultura, leis e outros aspectos, para que o estrangeiro possa ser útil à sociedade japonesa.

お互いの文化を共有するための講演、セミナー等を企画・実施することにより外国人が社会に貢献できる土台作りを行う。

将来のビジョン Visão do futuro

Através do conhecimento, diminuir a espessura da parede de preconceito existente de ambos os lados.

多文化共生を推進し、お互いに持っている差別の壁を取り除くために役立つ。

メッセージ Mensagens

Precisamos de voluntários, para que juntos possamos contribuir para a construção de uma sociedade multicultural.

私たちと力を合わせ、多文化社会を育てるためのボランティアを大募集！



PECLA Programa Educativo del Círculo Latino Americano

代表者名

Círculo Latino Americano de Toyokawa

キャッチ
フレーズ

Ayudemos a nuestros hijos a convivir y vivir útilmente en el Japón.

我が子どもたちの日本での共生、社会貢献を支援しよう。

活動目的 Propósitos de las actividades del grupo

Es un programa educativo que tiene el propósito de enseñar y/o mantener el idioma materno, tanto en español como en portugués, así mismo, tenemos las aulas de refuerzo de las escuelas japonesas, dirigida por profesores japoneses voluntarios.

母語であるスペイン語、ポルトガル語の習得と維持を助けるほか、ボランティアの日本人教師による補講の機会を提供する。

活動内容

Detalles de las actividades del grupo

Nuestras actividades son realizadas los días sábados de 2pm. a 5 pm., tenemos también un taller de danza los sábados de 6pm. a 8pm., para poder realizar dichas actividades, el PECLA debe separar previamente los salones correspondientes con algunos meses de anticipación y a la espera de ser aprobados para dichas actividades, en caso contrario, habrá sábados sin poder enseñar.

毎週土曜日、午後2時から午後5時まで母語や日本語の学習支援をしており、午後6時から午後8時まではダンスのワークショップを行っています。活動場所が数か月前の予約・承認制のため、やむを得ず休講することもあります。

地域社会への貢献

Contribución a la comunidad local

Este grupo viene realizando varias actividades en nuestra comunidad, donde nuestro taller de danza ha sido invitado a diferentes eventos dentro y fuera de Toyokawa, la más importante fue nuestra presentación en el World Colabo Festa de Nagoya, así mismo tenemos un taller de música folklórica, donde la mayoría de sus representantes son japoneses, de esta forma generamos un acercamiento cultural por parte de latinos y japoneses que gustan de participar de estos intercambios.

私たちは、この地域で多様な活動をしてきており、ダンスワークショップは豊川市内外のさまざまなイベントに招かれています。中でも、名古屋市で行われた「ワールド・コラボ・フェスタ」への出演は重要なものでした。また私たちは、民族音楽のワークショップも行っており、参加者の大半は日本人です。このように私たちは文化交流を望む日本人とラテンアメリカ人との架け橋でありたいと思っています。

将来のビジョン

Perspectivas para el futuro

Esperamos en el futuro contar con nuestra propia estructura, o sea, tener nuestro local para trabajar sin necesidad de depender de la suerte, sin el temor de quedar una semana sin clases, el cual genera cierto desánimo por parte de padres y niños en general, recibir ayuda para poder mantener los gastos administrativos, ayuda para adquirir material y maquinaria de oficina y formar tal vez un JUKU para niños latinos, tanto de Shougakko, como de Chuugakko.

団体としての組織化を進め、安定した活動場所を確保したいと望んでいます。現状では周囲の状況に左右され活動場所を確保できないなど、活動が行えないことがあり、父兄や子どもたちをがっかりさせることがあります。運営費の補助を受けられるようになれば、小学生、中学生を対象とした塾などを運営したいと思えます。

メッセージ

Mensaje

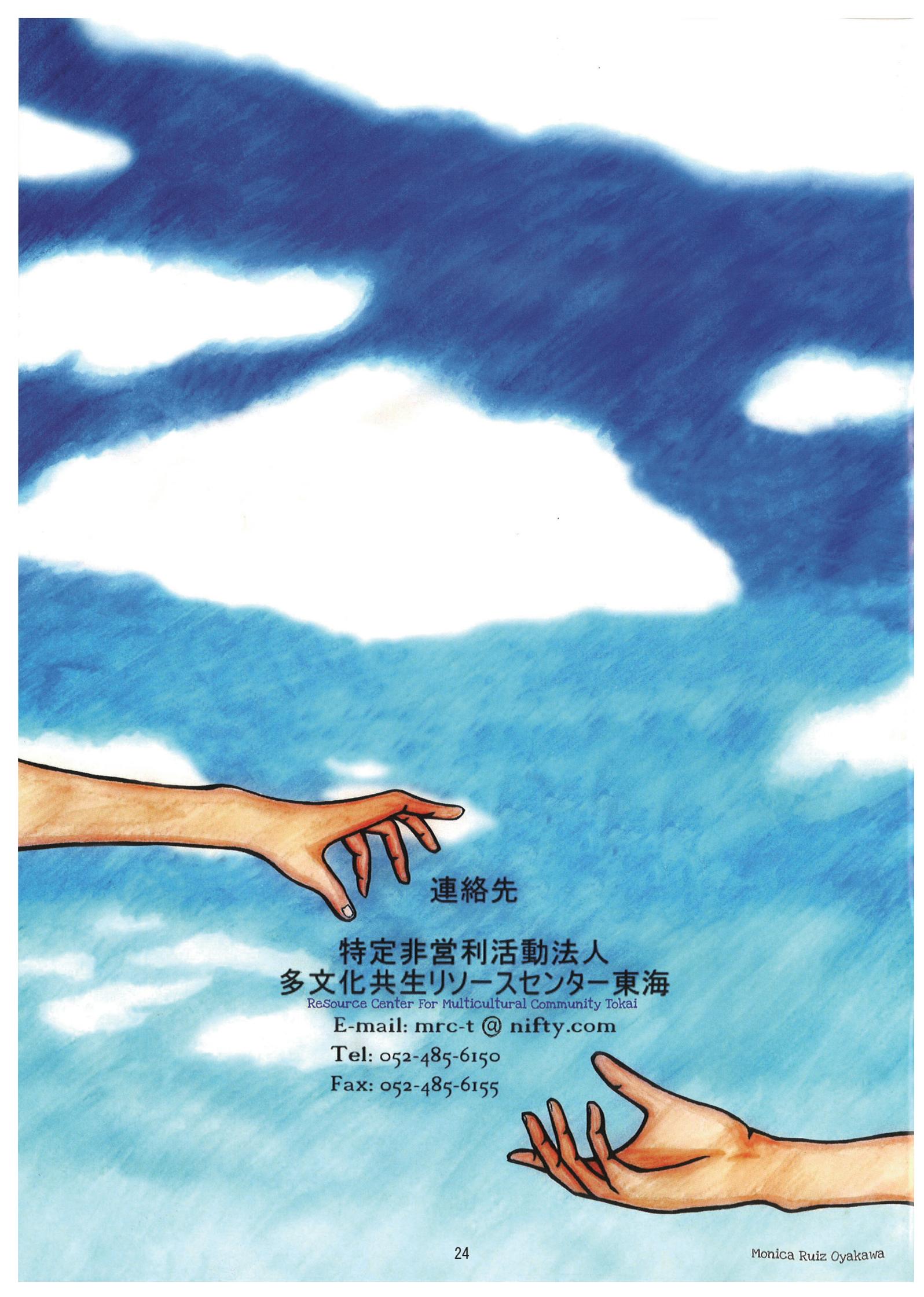
Nuestra preocupación es levantar el nivel de estudios de nuestros hijos, comenzando desde la primaria hasta que ellos lleguen a un Koukou y de allí a una Universidad, las cifras de abandono de estudios de los muchachos extranjeros es muy alarmante, queremos orientarlos y guiarlos para que puedan concretar sus sueños y así contribuir a esta sociedad y no dejarlos abandonados, terminando sus vidas en fábricas sin beneficios o en delincuencia.

私たちの関心事は、子どもたちの教育レベルを向上させることです。これは小学校に始まり、高校への進学をしてさらには大学へと続きます。現在、外国人青少年の不就学率は危惧すべき状況にあります。私たちは彼らが、彼らの夢を実現し、社会へ貢献できるよう指導したいのです。彼らは見捨てられてはいけません。恩恵の少ない工場労働や犯罪に手を染める人生を送らせたくないのです。

Memo

各団体から聞いたこと、学んだこと、気づいたことなんでもメモ欄で自由にお使い下さい。





連絡先

特定非営利活動法人
多文化共生リソースセンター東海

ReSource Center For Multicultural Community Tokai

E-mail: mrc-t@nifty.com

Tel: 052-485-6150

Fax: 052-485-6155